



街角レポート

まちづくり教育研究会 TOSS

まちづくり教育シンポジウム



大森先生の発表の様子

出前講座の様子を映しているところ
(映像の人物は大子土木事業所浅川課長)

パネリストの皆さん

今回は、平成17年2月、東京都大田区の池上会館で行われた「まちづくり教育シンポジウム」についてご紹介します。

この「まちづくり教育シンポジウム」は、教育者の団体であるTOSS (Teacher's Organization of Skill Sharing) の先生方とまちづくりの専門家が連携し、開催されたものです。今回で8回目となり、昨年には茨城県でも開催されました。

TOSSの先生方が行っている「まちづくり教育」では、「自分のまちが好きな子・自分のまちに誇りを持てる子を育てたい」をモットーに、子供たちが参加できる授業、学校と地域の結びつきが強化できる授業などを行うことを目標としています。

シンポジウムでは、まちづくりに関する模擬授業や教室で行うデザインゲームの提案、パネルディスカッションなどが行われました。模擬授業では、会場の全員が惹きつけられるとても魅力ある授業が行われました。

このシンポジウムが行われる3週間程前に、大子町の黒沢中学校にて、県庁職員が出向いて出前講座を行いました。これについて、同校の大森先生が発表されました。出前講座では、生徒が通学路の危険箇所を調査、その対応方針を発表し、行政が答えるという授業を行ったこと、そして、発表のあった危険箇所を短い期間ですべて改善してくれたことについて話していただきました。行政の素早い対応に、会場から大きな拍手が湧き、高い評価をいただきました。

今回のシンポジウムでは、先生方の教育に対する熱心な姿勢にはたいへん感じ入るもので、先進的な授業としてのプレゼンテーションの技術は、とても参考になりました。

(編集委員 M.N)